

# 経済透視図

112

トラック運送業界の2024年問題について、前回は解消すべき課題の一つとして「輸送効率の低下」を取り上げた。本稿では、トラックロジを活用して課題解決を目指すスタートアップの動きを紹介する。

ハコベル（東京都中央区）は、荷主と運送会社を直接マッチングするプラットフォーム「ハコベル運送手配」を運営する。また、荷主業務のデジタル化を支援するSaaS（課題の一つとして「輸送効率の低下」を取り上げた。本稿では、トラックロジを活用して課題解決を目指すスタートアップの動きを紹介する。

## トラック運送業界の2024年問題と関連スタートアップの動向(下)

CBCloud（東京都千代田区）は、荷主と運送会社をマッチングするプラットフォーム「ピックゴー」を展開する。ピックゴーには5万台以上運営するほか、物流業の車両が登録してお

り、ラストワンマイル（目的地までの最終区間）輸送に強みがある。オペティマインド（名古屋市中区）は、中長距離輸送の効率化に強く、特に配車計画の効率化を通じた実車率の向上に対し「Loggia（ルージア）」を提供する。また、複雑なバリエーションに対し、下流の中小運送会社をまとめた上で、荷主への取り組みを強化する例や、物流内で存在感を有する荷主や元請けといった大企業に対する取り組みを通じて、業界全体の効率化を企図する。

## 新興と連携 効率化図る



SMBC日興証券  
プライベート・キャピタル・ソリューション室  
片山大樹

実際の走行車両・走行実績から得られたビッグデータを基に人工知能(AI)を活用することで、さまざまな制約条件を考慮しつつ高精度な経路探索や配送ル

やフォーマットからなるデータの一元管理を可能とするデータウェアハウスのほか、物流会社向けの輸送管理システム、物流企業間の請求管理システムを提示する。

ハコベル、CBCloud、オペティマインドはラストワンマイルを始め、比較的短い輸送距離帯がメイン市場だ。一方、シマントは中長距離の輸送帯に注力している。また、な業務遂行や高い輸送効率の実現を目指す中小運送会社をまとめた上で、荷主への取り組みを強化する例や、物流内で存在感を有する荷主や元請けといった大企業に対する取り組みを通じて、業界全体の効率化を企図する。

無断転載・複写禁止